



すぐに答えを出さない勇気

社会が急速に変化し、技術が進化し、情報が溢れる現代社会の中で、『ネガティブ・ケイパビリティ』という考え方が見直されてきています。

(「ネガティブ・ケイパビリティ」とは、安易な答えに飛びついたり、中途半端な知識で合理化しようとしたり、既存の答えに頼って思考停止することなく、不確実で曖昧な状態を受け入れ、その状態にとどまる能力です。)

特に、すぐに結論を出さず、すぐにジャッジせず、分からないものを分からないまま宙ぶらりんにする「もやもやする力」に注目が集まっています。

もやもやして考えていくことで、創造性が生まれるということです。

<著書参考;「ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力」(帯木 蓬生(ははきぎ ほうせい)著)>

しが学校支援センターでは、「におねっと」を通じて、子どもたちのもやもやした考えをすっきりしていける出前授業をコーディネートしています。

お気軽にお問い合わせください。



*「におねっと」のことなら、まずは [077-528-4654](tel:077-528-4654)(月曜日・水曜日・金曜日:片岡)まで!!

☆情報あれこれ☆

- ・前号にて、教職員互助会による「学校生き生き活動支援事業」の補助金申請は、今年度分予算が9月5日をもって一杯になつたことで、終了したことをお伝えしました。
この事業は、長年学校の教育活動支援費(講師等の経費など)の助成金として交付され、様々な学校活動に活用されてきた校もあるかと思いますが、昨年度の3月17日付で学校に配布されましたお知らせの通り、令和7年度からその予算枠がなくなりますのでお知らせください。

☆前期出前授業「事後アンケート」 特集 part1☆

<防災・安全編>

J A F (交通安全教室)



学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none">・「とびださない」というシンプルなキーワードで、飛び出しがいかに危険かということを実験を通して教えていただけてとても理解しやすかった。・車の運転席には死角があり、校舎内での廊下を走る危険性にもつなげていただけてよかった。	<ul style="list-style-type: none">・車が、一般の道で規則通りの速度で走っている時でも、急ブレーキで止まるまで20mも必要だと初めて分かった。・車に乗っている人が、後ろの方のどの部分が見えないのかがよく分かった。・命を守るために、「飛び出さない」「止まる」「ちゃんと見る」を守っていきたい。

ヤマト運輸（こども交通安全教室）

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・車の内輪差で、実際に自転車が車の後輪に巻き込まれる様子を見ることで、前輪と後輪の通る道が違うことが良く分かった。 ・交差点手前で左折してくる車に巻き込まれないために、車とどれくらい距離を取らなければいけないかなど、子どもが良く考えるいい機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車の制動距離が、想像していた以上に長くびっくりした。 ・これから道路を歩く際や自転車に乗っている際に活かしていきたい。

ALSOK（あんしん教室「安全な街って何だろう」）

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・架空の街を通して危険について学んだことで、自分の地域について、防犯の視点で実生活に活かしていけそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の後に、自分の地域のマップを見ながら危険個所を考えてみると、今まで気づけなかった場所に危険があることに気づくことができた。 ・これからも常に防犯の意識をもって安全に生活できるように考えていきたい。

大阪ガスネットワーク（考える防災教室）

学 校
<p>【県立盲学校での職員研修として活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なことでありながら具体的に考える機会がない中で、たいへんいろいろなことを学ぶことができてよかった。特に、備蓄の量などを具体的に教えていただき参考になった。今日の学びを基に、更にこれから福祉避難所として何ができるのかなどを研修していきたい。 ・盲学校なので、見えない人への配慮についても考えていきたい。

オプテージ（SNSの危険性とコミュニケーション力）

学 校・保護者	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・何が良く何がいけないのかがよく分かった。 ・具体例やクイズがあり分かりやすかった。 ・親子で使い方のルールを見直す良い機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度 SNS にあげてしまったものは、拡散して消すことはできない。 ・使い方によっては人を傷つけてしまう。 ・知らないうちに依存してしまうので、自制していきたい。

<科学編>

旭化成株式会社（膜ろ過による水の浄化技術）

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・5名の方が来てくださり、子どもの各テーブルについていただいたので、疑問や発見など、すぐに個別対応していただきありがたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろ過の実験をして、透明になるものとならないものがあって面白かった。 ・全部透明になるとよそうしていたけれど、そうではなく、濁りだけがとれることもあるとわかってびっくりした。



皆様にとって、今日も明日もいい日になりますように！！